

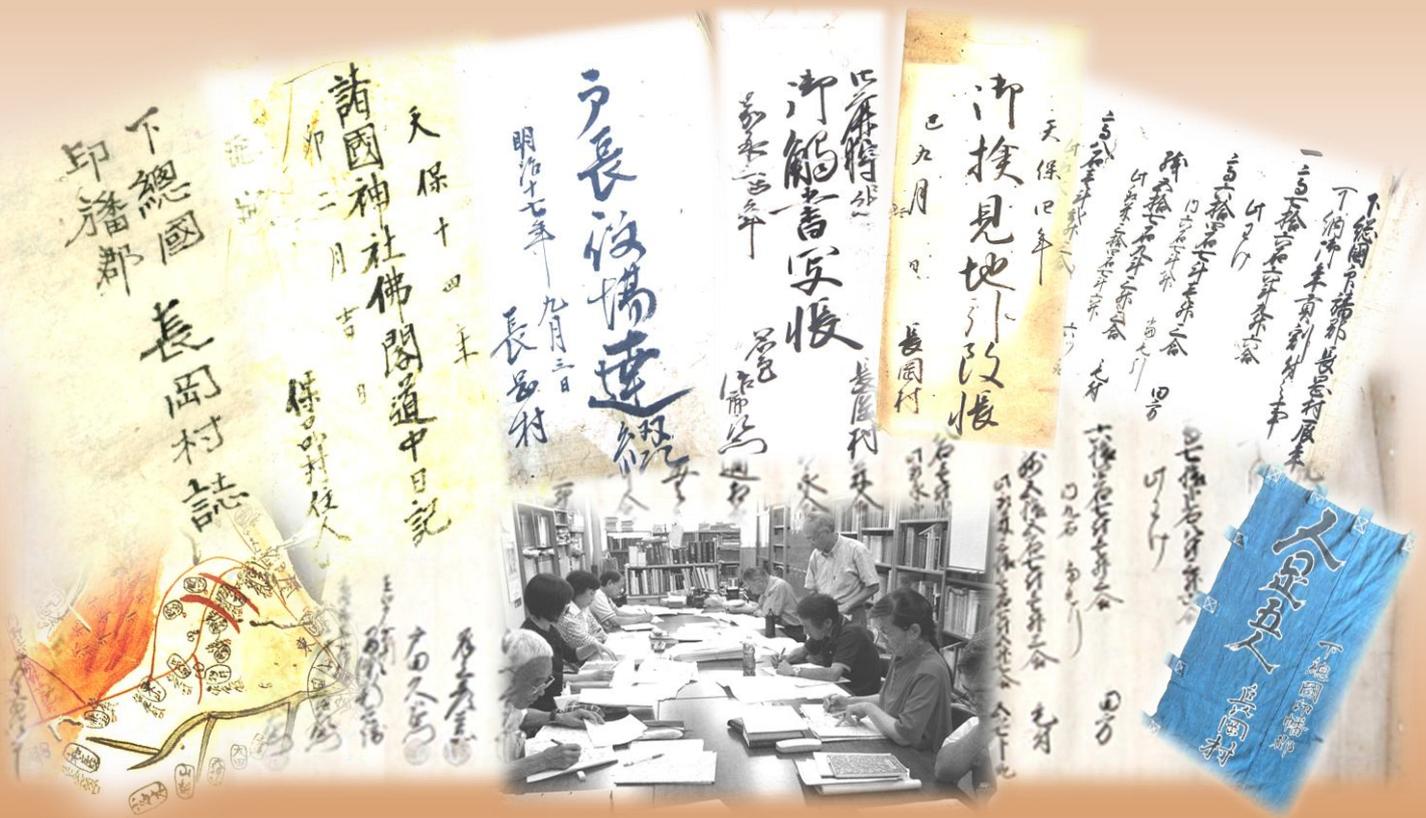
平成24年度企画展

古文書が伝える

四街道の歴史展

～井岡家文書が伝える

江戸時代から明治時代までの四街道～



会場:市民ギャラリー(四街道市役所第2庁舎1階)

会期:平成25年3月5日(火)～10日(日)

開館時間: 9:00～18:00 入館無料

展示解説: 9日(土)・10日(日) 14:00～15:00

主催:四街道市教育委員会社会教育課

企画・運営:市史編さん協力員

中世に多くの城館が築かれ、
近世・近代には砲術で栄えた歴史ある町

当市長岡地区の『井岡家文書』は市内で最初に発見された古文書で、市指定文化財「嘉永二年御鹿狩文書」を始め、近世から近代まで約5,300点に及ぶ貴重な史料があります。地道な古文書調査・整理により、当村は小田原征伐において後北条氏に与した千葉氏家臣団の武士が帰農した村ではないかとうかがわせる文書など、様々な発見がありました。

今回はその中から、江戸時代から明治時代までの史料を展示し、これまであまり明らかにされてこなかった四街道の歴史を、市民の皆様にご紹介したいと思います。この機会に、日ごろ目にすることのない古文書に親しみ、郷土の歴史に思いをはせてみませんか。

徳川将軍小金原御鹿狩図（個人蔵）

《展示テーマ》

1. 長岡村の概要
2. 佐倉藩の支配
3. 嘉永二年小金原御鹿狩
～四街道に5300人の
勢子人足が集まる～
4. 村の土地と生産力
5. 長岡村の年貢の変遷
6. 庶民の道中日記
～十助さんの大旅行～
7. 江戸から明治へ
～明治新政府と千葉県庁の布達～
8. 村が変わる・自治体が変わる
～名主から戸長へ、区から村へ～
9. 年貢から地租へ
10. “軍郷”四街道と戦争
11. 鉄道がやってきた
12. 学校が始まった
13. 長岡の産物
～茶・煙草・酒・醤油・薬～



井岡家現当主敬則氏を囲んで
市史編さん協力員と



お問い合わせ
四街道市教育委員会教育部
社会教育課文化財グループ

電話：043-424-8934

清和帝ノ苗裔正四位下足利石馬野
義氏第三子長岡將監ハル者仁惠ニ
シテ雄畧アリ山城国葛野郡長岡ニ
城シ克リ帝都ヲ保護シ居ルハ牧年

下総國印旛郡長岡村誌